



休刊大日第一第三回  
定價一月六千五百五十五銭  
廣告料空石六十銭指定廿銭者  
新開店

# 養蠶應急資金

借入希望がない

割當少額で焼石に水

各町村持て餘す

疲弊の極に達して農村救

七口中機械の都合上百五十

億急資金を貸付けること

になつたと就いて、石城郡

にいたも既報の如く町村

長支會總會を開いて借り入

れに關する協議をなしたが

る名目に止まり實際にない

い有様に町村當局でも應急

資金には些か持て餘しの形

ながらでなく資金とは單な

りは燒け石に水の借款

入れを希望する者は殆どな

いは割當金額より少額

なため現在の農村にどうして

あると

共電式に改め

番號變更

九月頃基礎工事

平町役場新築

物價下落で設計變更し

百五十四口を

八口無無九口合計六百七十

減されため一先づ止の成立し其の他の町有地を處

るに就き現在有四百六十

大切な場所選定

佐藤生

夏が厳しい季節やつて來

た、生活に疲労、不自然な

枚のチケットと住居とするキ

歎美にたゞれや都會人が山

へ海へと息苦しむるつばか

い逃れてゆく時季となつた

邊のものではなかろうか、

夏が厳しい季節やつて來

た、生活に疲労、不自然な

枚のチケットと住居とするキ

歎美にたゞれや都會人が山

へ海へと息苦しむるつばか

い逃れてゆく時季となつた

邊のものではなかろうか、

水と燃料の豊富なこと、木慎雄氏に、キャムピング

を被つた高山に登ること、また、都度を避けることはあらうが、

嬉しいことではあらうが、

する初步の方へ、少し心づ

ならば農家へ買ふとい、當時のいゝこと、埋立地、

は語る

とを行ふ場合には監察の

許可を必要とする乗車券

に至つた右に就て平井係員

は語る

とを行ふ場合には監察の